

ミニレター  
**あぜみち通信**

平成21年5月1日  
101号

編集・発行：愛知県農業会議

**平成21年度全国情報会議が開催されました**

4月8日東京都文京区の椿山荘で開催されました。今回は、情報活動表彰と併せて、農業委員会だより全国コンクールの表彰や写真コンクールの表彰も行われました。

今年の東京の桜は、開花期間が非常に長かったこともあり、会場の椿山荘では、満開の桜が出席者を出迎えてくれました。

本県では、情報活動功労者表彰を、

牧野好伸氏(豊橋市)、日比野郁郎氏(津島市)、山下史郎氏(常滑市)、  
鈴木 明氏(小牧市)、鈴木和義氏(田原市)、日永 熙氏(愛西市)、  
服部金藏氏(弥富市)の農業委員会会長さんが受賞されました。

職員の部では、黒岩浩幸氏(刈谷市)、江川 寛氏(高浜市)、家田兵蔵氏(美浜町)のみなさんが受賞されました。

3,500部の購読を確保すれば、全国農業新聞に愛知版が掲載でき、より身近な話題や情報を感じていただけますので、今後とも、新規購読者の確保にご協力ください。

会議では、ユニークな推進事例の発表がありました。

東京都東村山市農業委員会の肥沼会長さんは、雨の日に訪問する、購読をOKしてくれたら、即申込書を記入してもらおう、原則として1年分の購読料を申込の際に預かる、という方法で増部ができたと報告されました。会長さんの人柄や行動力など、背景があったとは思いますが、参考になりました。

記念講演は、作家で、先頃まで日本財団理事長をしておられた曾野綾子氏が、『人間は土に育つ』と題して話されました。

曾野氏は、何十年も家庭菜園を続けておられますが、最初の手ほどきは、何でも知っていた”ばあや”からだそうです。海外への助成事業を実施している仕事を続けてこられ、各国民の長所短所をよくご存じで、その経験からすると、日本人の真面目さ几帳面さは特筆すべきもので、これを失わないようにしたいと言っておられました。

その性向を、農業面にも存分に発揮してほしい、私たち農業外の者たちを、その豊富な知識経験で指導してほしい、と会場にエールを送られました。

翌日は、築地場外市場と深川政府米倉庫、お米ミュージアムを視察しました。

深川政府米倉庫は、3階建て延床面積5万9千㎡弱、関東以北の銘柄米を5万5千トン保管しています。この倉庫の管理は、外部委託され、常時15人以下での保管を省力化で実現しています。災害時の対応も隣接運河を利用できるなど、緊急時の出庫方策も樹てられていました。

### 職員新任者研修会を開催

愛知県農業会議は4月15日、愛知県農業委員会事務研究会との共催で、農業委員会職員新任者研修会を開催しました。

研修会には、講師を務めて頂いた農業振興課の方々も含め約90名が参加し、農業会議農政課の鳥居主査から「農業委員会等に関する法律と農業委員会の運営について」、県農林水産部農業振興課の城主任主査から「農地法の概要について」と「農地法等改正関係資料」、同課の三浦課長補佐から「農業経営基盤強化促進法の概要について」の講義を中心に、午前10時から午後5時までみっちり研修をして頂きました。

参加して頂いた皆さんは、農業委員会及び農地等に関連する法律の基礎知識を早く習得し、少しでも実務に活かそうと最後まで熱心に受講して頂きました。

### 常任会議員会議(4月)の審議状況

4月17日午後、白壁庁舎会議室で、農地法等に係る愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議が開催されました。

本年度最初の会議でもあり、今後諮問が予定される愛知県農林水産部及び建設部、名古屋市住宅都市局の関係職員も出席し紹介されました。

4月の諮問は、農地法第4条及び第5条に基づくものでした。愛知県の8農林水産事務所の担当者が、それぞれ自己紹介ののち、管内の転用事案の説明を行いました。

農地法4条に基づく案件は、49件(平成20年4月41件)、25,767㎡(同18,914㎡)、同法5条に基づく案件は、301件(同360件)、261,077㎡(同409,606㎡)でした。審議の結果、諮問のとおりで差し支えない旨承認されました。

審議後、今年度の愛知県農業会議の体制、会議の予定などの報告が行われました。

### 愛花協だより(知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈)

岡崎市 片岡建二さん・真里さん(4月19日挙式)

小牧市 大嶋康徳さん・陽子さん(4月26日挙式)

ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

## 平成20年度耕作放棄地全体調査(耕作放棄地に関する現地調査)の結果について

平成20年度において、全国の農業委員会において耕作放棄地の位置と状況を把握するために現地調査を実施した結果が農林水産省から発表されました。

| 区 分 | 耕作放棄地面積(ha) |       | 割合(%) |     | うち農用地面積 |       | 割合(%) |     |
|-----|-------------|-------|-------|-----|---------|-------|-------|-----|
|     | 全 国         | 愛知県   | 全国    | 愛知  | 全 国     | 愛知県   | 全国    | 愛知  |
| 緑 色 | 69,228      | 1,878 | 30    | 44  | 42,833  | 1,212 | 36    | 65  |
| 黄 色 | 57,087      | 1,141 | 25    | 27  | 33,631  | 551   | 28    | 29  |
| 赤 色 | 104,698     | 1,216 | 45    | 29  | 42,112  | 106   | 36    | 6   |
| 計   | 231,013     | 4,235 | 100   | 100 | 118,593 | 1,869 | 100   | 100 |

全国の状況においては、耕作放棄地面積の多い都道府県は、鹿児島県で20,400ha、長野県で15,151ha、長崎県で12,347ha、岡山県で10,579ha、愛媛県で10,443haの順で、愛知県は21番目となっております。

愛知県の地域別状況は、耕作面積からみると、尾張地域で1,537ha(36.3%)、西三河平坦部地域で999ha(23.6%)、東三河平坦地域で1,014ha(23.9%)、中山間地域で686ha(16.2%)となっております。

なお、農用地区域別面積からみると、尾張地域で789ha(42.2%)、西三河平坦部地域で243ha(13.0%)、東三河平坦地域で698ha(37.4%)、中山間地域で138ha(7.4%)となっております。

特に、赤色の状況をみると、耕作面積において西三河平坦地域で530ha(43.6%)、中山間地域で489ha(40.2%)と高い割合となっております。また、農用地区域面積については、東三河平坦地域46ha(43.4%)で、中山間地域で25ha(23.3%)と高い割合を示しております。

### 今後の主な行事予定

- 5月 7日 全国農業委員会都市農政対策協議会会員都府県農業会議事務局長会議、  
～ 8日 都道府県農業会議事務局長会議、農業会議新理事務局長会議(東京都)
- 5月 8日 海部地区農業委員会協議会総会(津島市)
- 5月11日 農業者年金担当者会議(農協研修所)
- 5月13日 担い手協議会代表幹事会(白壁庁舎)
- 5月14日 都道府県農業会議会長会議(東京都)
- 5月18日 常任会議員会議(白壁庁舎)
- 5月22日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会総会(白壁庁舎)  
市部農業委員会会長会春季総会(愛西市)
- 5月28日 全国農業委員会長大会

5月29日 埼玉県久喜市の観光農園・農産加工の視察  
6月 2日 農地基本台帳システム新任者研修会 ソリマチ（白壁庁舎）  
6月 3日 農地基本台帳システム新任者研修会 両備システムズ  
（トーテックアメニティ株式会社会議室）  
6月 9日 三河地域農業委員会長・事務局長会議(農業大学校)  
6月10日 尾張地域農業委員会長・事務局長会議(白壁庁舎)

**新刊図書（全国農業会議所）**

農業者年金加入推進事例集 単価 700円

農業の外国人研修・技能実習受入のためのマニュアル 単価 750円

農業者年金リーフ(2009年度版しっかり積み立てて、サポート) 単価 45円